

楽器と新型コロナウイルス

隔離期間

楽器の消毒に関する研究の一環として、エクス・マルセイユ大学（AMU）の新型コロナウイルス対策チーム（Unité des virus Émergents、以下 UVE と略）と共同で、隔離（楽器に一定期間接触しないこと）に関する試験を実施しました。

この試験の目的は、楽器に使用される様々な材料の表面（材質やコーティング）上で、ウイルスが不活化する時間を測定することでした。ウイルスの不活化とは、消毒に相当するウイルス量の減少のことを表します。試験方法はサンプルで、ある濃度の少量の活性ウイルス粒子を、これらの表面に付着させ、その経時変化を評価しました。

なお、楽器の隔離が不可能な場合は、[CSFI](#)（フランス楽器製造組合会議所）および [ITEMM](#)（欧州音楽専門職技術研究所）のウェブサイトで公開された「Good practices guides」^(*) で推奨された手順に従うことで、新型コロナウイルスに対して効果的に楽器を消毒することができます。

^(*) ビュッフェ・クランポン・ジャパンのウェブサイトで日本語版「新型コロナウイルスに対する適切な対象法 - 管楽器」[木管楽器版](#) [金管楽器版](#)を公開しています。

一般的な隔離期間の目安

試験の結果、ウイルスが不活化する時間は、表面（材質やコーティング）によって異なるものの、最大で 4 日かかることが判明しました。この時間は、周囲の環境、付着したウイルスの初期濃度や量によって変わる可能性があります。また、楽器には様々な材料や表面処理が使用されているため、すべての楽器に対して 5 日間の隔離期間を設けることをお勧めします。

さらに、管楽器のリードや紙類（一般的な紙や楽譜）などの表面でも不活化にかかる時間を試験で検証しました。

- ・ リード（ケーン）：6 日間
- ・ 紙：7 日間（6 日経過しても活性化したウイルスが残存するため、譜面については 7 日間の隔離期間を推奨します。）

推奨する隔離期間

楽器：5 日、 リード（ケーン）：6 日、 紙・楽譜：7 日

表面タイプ別のウイルス不活化に要する時間

試験は平均的な温湿度条件（19～21℃、湿度 50～60%）の条件下で実施し、各表面を 3 か所で測定しました。試験で明らかになった表面タイプ別のウイルス不活化に必要な時間を、以下の表にまとめました。

材料	時間
合金、金属	
真鍮	3日間（72時間）
洋銀	3日間（72時間）
銀めっき	3日間（72時間）
ニッケルめっき	3日間（72時間）
金めっき	4日間（96時間）
ラッカー	
ポリウレタン	2日間（48時間）
ニトロセルロース	3日間（72時間）
リンシードオイル（亜麻仁油）	4日間（96時間）
シェラック、セラックニス	4日間（96時間）
エポキシ樹脂	4日間（96時間）
その他	
エポナイト	4日間（96時間）
ABS（ポリマー）	2日間（48時間）

注意事項

技術的な問題により、本試験では、ニス塗っていない/処理していない木材の表面におけるウイルス不活化の最短期間を評価することができませんでした。様々な木材がウイルスを吸収する可能性や、ウイルスを放出する可能性についての具体的な研究は、現在進行中であり、今後の研究対象となります。

楽器の素材やコーティングは、メーカーや機種によって異なります。ご自身の楽器にどのような素材が使われているか確認を希望される場合は、前述の「Good practices guides」(*)をご参照いただくか、情報が得られない場合は専門家にご相談ください。

(*) 日本語版「新型コロナウイルスに対する適切な対象法 - 管楽器」 [木管楽器版](#) [金管楽器版](#)

研究計画および管理

ビュッフェ・クラムポン、ITEMM



免責事項

本資料は、英語および仏語の原文を株式会社 ビュッフェ・クラムポン・ジャパンが翻訳したものです。翻訳には最新の注意を払っておりますが、内容の最新性、確実性、有用性その他を保証するものではありません。コンテンツ等のご利用により万一何らかの損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いません。

ITEMM
M. Romain VIALA
romain.viala@itemm.fr / 02 43 39 39 42
71, avenue Olivier Messiaen – 72000 Le Mans
www.itemm.fr

CSFI
Fanny Reyre Ménard
freyremenard@csfi-musique.fr / 06 17 91 64 93
9, rue Saint-Martin - 75004 Paris
www.csfi-musique.fr